

# お誕生日おめでとう!!

●わが家の人気者●

4月



長友 <sup>やすま</sup> 康真くん  
●平成18年4月21日生まれ  
●寺福童

翔哉兄ちゃん、爽真と仲良く元気にたくましく育ってネ。



長友 <sup>そうま</sup> 爽真くん  
●平成18年4月21日生まれ  
●寺福童

翔哉兄ちゃん、康真と仲良く元気にたくましく育ってネ。



中山 <sup>かんと</sup> 幹太くん  
●平成18年4月25日生まれ  
●稲吉

元氣いっぱい、強くたくましい子になあれ♡



別府 <sup>おうすけ</sup> 旺典くん  
●平成17年4月17日生まれ  
●美鈴が丘

2才のお誕生日おめでとう。お友達をたくさんつくってネ。

## 子どもさんの写真募集中

問い合わせ先 総務課文書・広報係  
☎72・2111 内線 242

## 随想 58

KISS MY WAY

荒木 啓吾さん  
(三沢)



「青春時代はどんなだった？」そんな問いかけに、私は答える事ができなかった。なぜなら、青春時代が「どんなだった」という以前に「いつだった」のかわからない。そうだ、今が青春時代の真っ只中なんだ。そんな真っ只中のエピソード。

学生時代、友人と日本を車で旅しようと計画もなしに出発した。いつもそうだ。計画なんてそっちのけ。不安なんて財布の中身以外は微塵もない。あるのは期待。希望に飢えた日々をなんとなく変えてみたい、そう思った。未来すら追いつけないくらい、ずっと遠くまで行ってやろうと意気込んだ。

もちろん道なんて知らない。カーナビも使わない。自らが感じたように未知なる道を進むだけ。行くところ全てが目的地、だから高速道路なんて使わない。

「知らない場所」「知らない景色」「知らない言葉」「知らない味」、そのすべてを飲み込みたくなった。

国内もまともには知らない私達は、井の中の蛙にもなりきれないオタマジャクシだ。色んなものを糧にして、手足を生やしてみせるよ。

旅の途中、一つのトンネルを潜った時、さっきまで入口だったはずが、振り向いた瞬間に出口に変わって

いた。「世の中は己が主体なんだ」そう訴えかけられている気がした。

そんな事も考えながら、計画のない旅は続いていった。色々な場所で、多くの人と対話し、うまい物を食い、常に五感を刺激されていた。毎日が充実そのものであり、眠ってしまうのが勿体ないくらいテンションは上がりっぱなしだった。

しかし、いつからだろう。最終的な目的地を定めたのは。気が付けば、ハンドルは福岡を目指していた。道路標識に「福岡」の文字が見える度に、現実に戻される感じがしていた。

出発点のこの地に戻った時、最初に思った事は、すべてが“わかる”という事。人の話す言葉や標識や店、何も考えなくてもわかる。「わかるってなんだか面倒くさいな」そう口を合わせたように言って、別れた。人の記憶は曖昧だが、どうしても忘れたくない記憶。そんな記憶がこの旅には多く詰まっている。だが、細かい記憶は少しずつ消える。だけどそれを「切ないな」なんて言っている程、暇ではない。

「青春時代」。まだまだやりたい事が山積みの私には、時代を振り返る余裕がないのかもしれない。昔の自分は今の自分になりたかったはずなのに、今の自分はまだまだ多くの事に憧れがあるので、やはり、まだまだなんだ。

そしていつの日か後ろを振り返る余裕ができた時、虹の橋が鮮やかに架かっていたら言うことは何も無い。だから、その時まで憧れへ道を走り続けよう。

次号(6月号)は、山内良枝さん(みくに野団地)にリレーされます。